

幼児・児童教育学科 幼児保育コース

(A) 卒業に要する単位数

下表のとおり履修しなければならない。

科目区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
教養科目	2単位	4単位以上	6単位以上	12単位以上
専門科目	8単位		42単位以上	50単位以上
自由選択科目		2単位以内		2単位以内

(B) 専門科目について

卒業のためには、必修科目に指定された4科目8単位、及び選択科目から42単位以上を修得しなければならない。

(C) 幼稚園教諭二種免許並びに保育士資格について

- 幼稚園教諭免許状（二種）の取得のためには、短期大学を卒業し、「短期大学士」の学位を持つことが基礎資格となる。本学の卒業資格を合わせて満たす必要があるため、科目の履修に当たっては十分に留意すること。
- 保育士資格は国家資格であるため、登録手続き（都道府県知事への申請）において学生各自が関与する部分もあるので注意すること。
- 教育実習並びに保育実習について
 - 実習の内容
 - 保育実習Ⅰは保育所実習12日間以上、福祉施設実習（児童福祉施設等）12日間以上の合計24日間以上。
 - 保育実習Ⅱは保育所実習12日間以上。
 - 保育実習Ⅲは福祉施設実習12日間以上。
 - 幼稚園教育実習は原則として4週間（都道府県政令指定都市によっては3週間）
- 教育並びに保育実習の参加条件
 - 単位修得の条件

各実習に参加するには以下の条件に従って単位を修得しなければならない。

 - 保育実習Ⅱ・Ⅲ：1年次終了までに「保育士資格」取得に必要な専門科目（指定科目）について19科目29単位以上を修得していること。
 - 幼稚園教育実習：1年次終了までに、「幼稚園教諭免許」取得に必要な専門科目（指定科目）について、14科目19単位以上を修得していること。
 - その他の条件

上記の単位履修の他に教育ならびに保育実習に参加するためには次の全ての条件を満たす必要がある。

 - 心身ともに健康で、実習期間中に欠勤や実習中断が予想されないこと。
 - 幼稚園教諭又は保育士になることへの意志が固いこと。
 - 実習指導における受講態度（出席状況、課題提出）が良好であること。
 - 実習先から求められる実習生として役割や責任を果たすことができること。
 - 学生生活から幼稚園教諭並びに保育士としての適格性が認められること。
- 実習科目の単位認定

実習科目の単位は、上記実習及び実習指導の評価により認定する。

(4) 課程費並びに実習費

免許状・資格の取得を希望するものは、各々の費用を下記のとおり納入しなければならない。

イ) 課程費（1年次に別途納入すること）

教諭課程・保育士課程 60,000円（幼稚園教諭のみ30,000円、保育士課程のみ40,000円）

ロ) 実習費（2年次に別途納入すること）

教育実習・保育実習費 90,000円（教育実習のみ40,000円、保育実習のみ60,000円）

☆課程費、実習費については、6月に別途徴収する。

専門科目

必修科目

区分	科 目 名	単位数	開講 期間	開講 学年	卒 業 (摘要)	幼稚園 教諭	保育 士	備 考
必修	教師論	2	半期	1年		○	○	
	教育課程論	2	半期	1年		○	○	
	教育原理	2	半期	1年		○	○	
	教育方法論	2	半期	1年		○	○	

○ 資格取得のための必修科目。

幼児保育コース

△1 2科目から1科目1単位以上を修得しなければならない。 △2 2科目から1科目1単位以上を修得しなければならない。
△3 4科目から2科目2単位以上を修得しなければならない。 △4 2科目から1科目2単位以上を修得しなければならない。
△5 2科目から1科目1単位以上を修得しなければならない。 ○ 資格取得必修
※次に定める授業科目については、30時間の授業時間をもって2単位とする：「子どもの食と栄養」「教職実践演習」